

はいいい！

沖縄JTＢは、「沖縄の経済発展実現に、観光を基軸として貢献する」ことを経営理念に掲げ、お客様・事業パートナー様視点での社会的有用性を日々、追求しております。

具体的には沖縄県内および来沖される皆様双方にとって必要とされるサービス・商品を提供し続けることで、沖縄の観光振興になくてはならない存在であり続けることを目指しています。

当社は１１０年以上の歴史を持つ株式会社JTＢのグループ会社として、３５年以上の間、この沖縄の地に根差し、企業活動を継続してまいりました。そして、令和６年には社名を「沖縄JTＢ株式会社」に変更し、活動のメインキーワードを「沖縄と共に育とう」と定め、沖縄経済への更なる貢献に取り組む所存です。

発・受の旅行事業・仕入業務はもちろんのこと、国・自治体と共に事業を行う公務営業、地域活性化事業、観光情報誌発行、観光案内所や空港ラウンジの運営、訪日インバウンド事業等、その領域は多岐にわたります。沖縄JTＢでは自然（じねん・自ら燃える）人財の育成にも取り組み、「やってみよう」を合言葉に、新たな仕組みの構築及び観光素材の開発に挑戦しています。また、サステナビリティを経営に実装するため、財務、非財務における指標の策定と、活動の実施を推進します。

新社名に込めた、沖縄を主語として企業活動を行うという意志を、サステナブルな活動と経営で具現化するとともに、沖縄のための企業であることが沖縄県内外にまで認知されるよう活動してまいります。

沖縄にとって観光は基幹産業であり、観光立国を目指す日本の牽引役でなければなりません。美しい海・豊かな自然・歴史・文化・食・ホスピタリティを有し、世界有数の観光地となる無限の可能性を秘めた沖縄のプレゼンス向上に向け、私たち沖縄JTＢもその一翼を担えるように精進して参ります。

引き続きのご愛顧を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

沖縄JTＢ株式会社
代表取締役 社長執行役員

桂原 耕一

JTB Group

JTBグループ経営理念

地球を舞台に、人々の交流を創造し、平和で心豊かな社会の実現に貢献する。

私たちがお客様に約束すること

私たちは、地球を舞台に自然、文化、歴史とのふれあいや人々の交流を創造し、お客様にとっての感動や喜びと成果の実現を追求します。
私たちは、お客様と共に歩んできた１００年を大切に、これからも「価値ある出会い」を創造し続け、サステナブルな社会の発展に貢献します。

ブランドスローガン



ONE JTB Values

- ・信頼を創る -Create trust-
私たちは常に誠実に、一人ひとりの心に寄り添い続けて、信頼を創りあげていきます。
- ・挑戦し続ける -Rise to the challenge-
私たちはお客様や社会の期待を超えるために、自ら挑戦し続けます。
- ・笑顔をつなぐ -Keep smiling-
私たちの笑顔で、お客様の笑顔をつなげます。

Network

35カ国・地域、82都市、162拠点
世界規模で事業を展開するグローバルネットワーク

JTBグループは地球を舞台に交流を創造するため、35カ国・地域、82都市、162拠点にわたり、安心・安全なネットワークを構築しています。

欧州	アジア・オセアニア	南北アメリカ・ハワイ
17カ国・地域 20都市／30拠点	14カ国・地域 39都市／93拠点	4カ国・地域 23都市／39拠点

※提携販売店を含む本社・支店・営業所数（2024年3月時点）

沖縄 JTＢ 株式会社

〒900-0029 沖縄県那覇市旭町112番地1 5F

2024.08

宮古島／砂山ビーチ

沖縄 JTＢ 株式会社

Company Profile 会社案内



感動のそばに、いつも。



経営理念

- 沖縄の経済発展実現に、観光を基軸として貢献する。

事業ドメイン — 交流創造事業 —

- 発・受けさまざまな交流創造事業を推進する。

私たちがお客様に約束すること

- 私たちは、沖縄のプロフェッショナルとして、沖縄に関わるすべての人々にとっての、期待を超える感動や喜びと成果の実現を追求します。

- 私たちは、沖縄に根ざした企業として、沖縄を愛し、沖縄経済活性化とサステナブルな社会の発展に貢献し続けます。

沖縄と共に育とう

- 活動のメインキーワードに「沖縄と共に育とう」を定め、その思いをロゴマークに込めました。青は沖縄の海、緑は沖縄の森、オレンジは沖縄の太陽、黄色は沖縄の輝き、赤は社員の沖縄への愛と情熱を示し、そしてリボンのデザインは「沖縄の可能性は無限大」であることを示しています。また、複数色を利用することで多様性を表現しました。このロゴマークを胸に、経営理念の「沖縄の経済発展実現に、観光を基軸として貢献する」ことに邁進します。



沖縄と共に育とう

沿革

昭和／36年2月	・財団法人日本交通公社 初の沖縄駐在 那覇市泉崎
38年	・沖縄セット旅行発売
46年6月	・株式会社日本交通公社沖縄事務所 設立
47年5月	・沖縄本土復帰
56年2月	・株式会社日本交通公社沖縄支店 設立
59年2月	・第9回「杜の賑い」開催(県内にて初現在まで毎年連続開催更新中)
63年5月	・資本金3,000万円をもって ジェイティービー沖縄株式会社設立
63年6月	・沖縄県知事登録国内旅行業代理店業第5568号取得
平成／元年7月	・八重山営業所設置
6年4月	・商事課新設
8年4月	・沖縄県知事登録旅行業第2種90号取得
10年1月	・運輸大臣登録旅行業第1種1492号取得
12年1月	・八重山営業所廃止
13年1月	・国土交通大臣登録旅行業第1492号取得
19年9月	・那覇市おもろまちへ移転
20年10月	・観光庁長官登録旅行業第1492号取得
20年11月	・職業紹介事業許可
21年4月	・株式会社JTB沖縄に商号変更、資本金1億円に増資
21年4月	・地域交流事業部新設
22年1月	・第1回美ら島オキナワCentury Run 開催
23年10月	・リッカドッカ 沖縄ナビ 開設
25年1月	・沖縄旅遊人(Okinawa Traveler)開設
26年4月	・那覇空港営業所設置
28年10月	・ツーリストインフォメーションセンター設置
29年4月	・沖縄県からの受託事業として 那覇空港内観光案内所の運営開始
30年4月	・株式会社JTB沖縄、株式会社JTB国内旅行企画、 株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベルの 3社が合併 ・仕入商品企画部新設 ・訪日営業課設置 ・MICE営業課設置
30年5月	・創立30周年を迎える
30年10月	・沖縄県からの受託事業として旭橋観光情報センターの 運営開始
31年3月	・那覇市旭町へ移転
令和／2年4月	・沖縄バリューアッププロジェクト(OVUP)課設置
3年4月	・沖縄デスティネーションデベロップメントプロジェクト (ODDP)設置
3年5月	・おきなわSDGsパートナー登録
3年6月	・女性活躍推進法に基づく「基準適合一般事業主」認定 (えるぼし認定)(3つ星)を取得
5年7月	・ウチナー健康経営宣言の事業者として登録
5年9月	・沖縄県所得向上応援企業に認証
6年4月	・沖縄JTB株式会社に商号変更

会社概要

社名	沖縄JTB株式会社
設立	1988年(昭和63年)5月26日
代表者	桂原 耕一
資本金	1億円
社員数	224名(2024年8月現在)
事業内容	・旅行業・地域活性化事業(観光コンサルタント) ・沖縄県観光情報を中心とした広告の プロモーションビジネス ・沖縄県を受地とする旅行商品の企画仕入、造成
事業所	本社／那覇市

沖縄発、沖縄着 地域と共に、交流を創る



訪日事業(インバウンド)

INBOUND BUSINESS

世界各国からの観光旅行、教育旅行、クルーズ寄港や国際会議MICEなどを通し、観光立県を目指す沖縄の観光振興に貢献します。

法人事業・MICE事業

CORPORATE AND MICE BUSINESS

JTBならではの社員旅行・研修・視察のご提案や働き方改革を支援・サポートする総務系ソリューションを展開しています。沖縄県内外からの企業・団体に「旅のチカラ」を活用したMICE受入、団体旅行、教育旅行などの法人ソリューションを提供します。これまで蓄積してきたブランド&ノウハウのすべてを投入し、知識やノウハウ、販路、そして地域ネットワークや信頼関係で、企業の課題を解決するビジネスパートナーを目指しています。



杜の賑い

MICE(沖縄開催)
団体旅行
教育旅行
企業福利厚生支援

沖縄エリア開発プロジェクト 沖縄着地コンテンツセンター

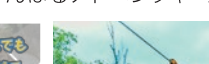
OKINAWA DESTINATION DEVELOPMENT PROJECT / OKINAWA TOURISM CONTENTS CENTER

沖縄観光の更なる発展を目指し、新規事業開拓を推進しています。

[沖縄をもっとワクワク、便利で、オモシロく]

ツーリズムを起点としたサービスやコンテンツの開発を通じて沖縄の持続的発展に貢献します。

沖縄には、まだまだ人々の『ワクワク、便利、オモシロい』を実現する種が存在し、芽を出すポテンシャルがあります。我々は、地域や事業者の方々と手を取り合い、共にこれらの種を見つけ、花を咲かせまたその種が次の花を咲かせる…そんな循環を目指して、自らサービスやコンテンツを皆様と共創して参ります。

開発事例	長距離路線バス …… 沖縄エアポートシャトルバス 短～中距離路線バス …… 沖縄路線バス周遊バス (OTOPa) アクティビティ施設 …… やんばるアドベンチャーフィールド		デジタル観光プラットフォーム …… Taview 備瀬マイクロエリア開発 滞在型コンテンツ …… Tatazumi@渡嘉敷島	
				
エアポートシャトルバス	沖縄路線バス周遊バス (OTOPa)	やんばるアドベンチャーフィールド	備瀬マイクロエリア開発	Tatazumi 渡嘉敷インスタントハウス

地域交流事業

COMMUNICATION BUSINESS

従来の旅行業の枠を超えて人と企業と地域が出会う「交流」を創造し、沖縄の経済を活性化します。

「交流」を軸にした沖縄の観光振興と経済活性の課題解決を目的とし、従来の旅行業にとらわれず視点を変え、切り口を変え、組み合わせを変え、持続的なビジネスへと転換します。

国・県および自治体等と協同して街づくり支援、特産品の開発支援、イベント実施、各種調査事業などを企画推進しています。

スポーツ関連ビジネス
那覇空港事業
プロモーション事業
その他交流事業(実態調査、戦略策定等)



るるぶFREE沖縄

仕入・造成事業

PURCHASE AND CONSTRUCTION

沖縄県内の宿泊施設から個人のお客様向けの客室仕入や沖縄県外からの修学旅行・団体旅行に関わる仕入・手配業務、お客様がご満足いただく旅行素材の新規開発や販売促進業務、WEB販売商品「るるぶトラベル」の契約・仕入業務などの様々なサービスを提供します。